

令和 6 年 4 月 11 日

一般社団法人 全国訪問看護事業協会  
会長 中島 正治 様

国立看護大学校  
教授 藤田 淳子

貴会ホームページへの掲載およびデータ提供のご依頼

謹啓

時下、ますますご発展のこととお慶び申し上げます。

さて、私は令和 5 年度に貴協会にて実施している「訪問看護及び療養通所介護における医療と介護の一体的なサービス提供についての調査研究事業」の委員長を拝命し、取り組ませていただきました。

本事業は令和 5 年度末で終了となりますが、この貴重なデータを改めて研究として、分析・公表をさせていただきたく存じます。

つきましては、今回ご協力くださった会員事業所の皆様にデータの研究のための再利用について貴協会ホームページでの周知及び事業終了後のデータのご提供の 2 点につきまして、お願い申し上げます。

なお、こうした手続きに伴う研究全体については、国立国際医療研究センター倫理審査委員会の承認（承認番号：〇〇）を受けております。

何卒、ご高配賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

【ご依頼事項】

1. ホームページへの掲載

・「データ二次利用の依頼書」（別紙）の内容について貴会ホームページへの掲載をお願い申し上げます。

・掲載は 2024 年〇月から 1 か月間を希望しますが、貴団体のご都合でご検討ください。

2. データの提供

・データ二次解析の研究利用を拒否した事業所データの削除及び全ての事業所名を削除した匿名データをご提供ください。

・提供を受ける研究者氏名（所属）

①藤田淳子、河田美那子（国立看護大学校）②辻村真由子（滋賀医科大学）

資料 2. データ二次利用の依頼書 ver1.1

「訪問看護及び療養通所介護における医療と介護の一体的なサービス提供についての調査研究事業」にご回答くださった訪問看護事業所の管理者様  
二次解析へのデータ再利用のお願い

国立看護大学校 藤田淳子

令和 5 年度「訪問看護及び療養通所介護における医療と介護の一体的なサービス提供についての調査研究事業」にご協力いただきまして誠にありがとうございました。おかげさまで 3,608 件の訪問看護事業所様よりご回答をいただきました。集計結果は 3 月末に報告書として公表されております。

本事業で皆様にご回答いただいた内容は、訪問看護のサービス提供および多職種連携の実態を把握するための貴重なデータです。そこで、この調査研究事業における検討委員会委員（藤田、辻村）が中心となり学術研究として二次解析を行いたいと考えております。

つきましては、本来の老健事業の目的にくわえて、以下の目的・手順にて事業所名を削除した匿名データとして協会からご提供いただき、分析に用いることに関して、改めてご協力をお願いする次第です。回答いただいた事業所には何ら追加の負担はありませんが、もし自事業所のデータについて研究目的での再利用に同意されない場合は、お手数ですが、2024 年 ○ 月 ○ 日までに下記の連絡先までご一報ください。その他、ご不明な点がある場合もお気軽にお問い合わせください。

- ・二次解析の目的は、事業所のサービス提供状況、多職種連携状況、および関連する要因について明らかにすることです。
  - ・記載いただいた事業所名はあらかじめ除外された匿名データを用います。
  - ・分析結果は統計的に処理し、また事業所が特定し得るような集計は行いません。
  - ・本調査で得られた情報は、研究目的以外には使用しません。
  - ・本調査で得られたデータについてはパスワードを設定し、外部への研究公表後 10 年間保管した後に速やかに廃棄します。
  - ・集計した結果は、関連する学術集会等で公表します。公表の際は本データが当該老健事業の旨を明記します。
- \* 研究者によるデータ再利用へ同意なされない場合のみ、下記に事業所名をご連絡ください。その場合でも事業所に不利益が生じることはありません。ご連絡がない場合は同意を得たものとして二次利用の分析対象とさせていただきます。

連絡先 国立看護大学校 教授 藤田淳子

E-mail: fujitaj@adm.ncn.ac.jp